



1 協会事業
第28回外国人による日本語スピーチコンテスト開催

2 Global View
Working in Ibaraki
～私の職場は茨城県

4 交流の広場
茨城地域留学生交流推進協議会の活動について
わが町の外国人リーダー
Young Eyes Across Culture

6 地球だより
上海って意外に住みやすいかも

県だより
駐日外交団の茨城県視察ツアーを実施しました!!

7 For You
お知らせ

8 協会のアルバム

CONTENTS



第28回外国人による日本語スピーチコンテスト開催

2月9日(土) 県民文化センター小ホールにて、第28回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました。

このコンテストは、県内で生活している外国人の皆さんが日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など、県民との相互理解を深めるテーマを日本語で発表し、異文化交流を促進するものです。当協会設立以来実施しており、今年で28回目を迎えました。

38名の方から応募があり、選考の結果、アルゼンチン、インドネシア、オーストラリア、オランダ/アメリカ(二重国籍)、タイ、中国、ネパール、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モンゴルの23カ国、男女15名が出場しました。

民族衣装を着てスピーチをした出場者もあり、華やいだ雰囲気会場を盛り上げました。



出場者の皆さん

合った司会により発表者もリラックスし存分に力を発揮できました。

審査集計中にはアトラクションも行われ、石岡木遣弘馨会による木遣唄と、茨城県華人舞踊団による中国舞踊が披露されました。

今年も、14の協賛企業・団体から素晴らしい賞品を提供していただきました。また、当協会の事業ボランティアや茨城県世界青少年コミュニケーションクラブの皆様38名のご協力によって、運営をスムーズに行うことができました。

上位入賞者は以下の通りです。

賞	受賞者・タイトル
茨城県知事賞 若人賞	蘇 羽佳(中国出身) 「私たちは親友になれるかな」
茨城県議会議長賞	ヨーン ペーン(マレーシア出身) 「日本人の感謝の気持ち」
茨城県教育長賞	エルコ リー タイックストラ(オランダ/アメリカ出身) 「日本人は最高だべ」
ひばり賞 日本語ボランティア賞	ネウパネ ジャガディス(ネパール出身) 「本当の教育」



茨城県知事賞
蘇 羽佳さん



茨城県議会議長賞
ヨーン ペーンさん



茨城県教育長賞
エルコ リー タイックストラさん



ひばり賞
ネウパネ ジャガディスさん



石岡木遣弘馨会



茨城県華人舞踊団



特集

Working in IBARAKI ~私の職場は茨城県

茨城の企業で働いている外国人社員の皆さんに聞きました

日本で働く外国の方々が増えています。今年度、全国の外国人就労者数は約146万人に達し過去最高を更新、また、外国人留学生の日本企業等への就職も過去最高を記録しました。茨城県内でもたくさんの外国人の方々が生きています。県内企業で働く外国人の皆さんに、茨城での生活や仕事についてお聞きしました。

カク ケイア
郭 慶亜さん

中国・四川省出身 勤務先:「株式会社ミトリカ」(勤続約4年)【水戸市】

現在のお仕事について教えてください。 分析機器(理化学)に使用するガラス部品の製作をしています。これまで、営業、事務など社内様々な部署を経験しました。お客様からのどのような注文なら応じられるか判断できるようになるには、製品の作り方をはじめ基礎知識が不可欠です。色々な部署を経験して勉強しています。

来日のきっかけは? 母国の大学に通っていましたが日本で学びたいと思い、茨城県内の大学に入学しなおしました。東京の大学を考えていましたが、留学生がいないところをあえて選びました。日本語が上手くなるし、多くの日本人の友人ができて、楽しく生活できます。自分で状況をうまく利用することが大切です。学生時代は協会の茨城県留学生親善大使になり、色々な学校で中国の紹介もしました。

茨城の印象や生活は? 来日して約9年間ずっと水戸市に住んでいます。気候がよく、噴火や津波など災害の心配もありません。普段は車通勤が便利です。東京にも近く、日常の買い物も困ることがなく、生活しやすいです。観光地では、袋田の滝、筑波山頂からの眺めが素敵です。竜神大吊橋のバンジージャンプは3回以上飛びました。

就職した経緯について 大学3年で就活した際には、東京の大手企業に内定していましたが、電車通勤や物価が高いことに不

安がありました。当時、茨城では留学生の採用に熱心な企業や留学生対象の説明会はなかったと思います。そのような状況でしたが、今の会社の社長のスピーチを聞く機会があり、感銘を受けて入社を希望しました。大企業より中小企業の方が仕事を任される機会が多く、人材として育つとも思います。

将来の目標は? 中国と日本との懸け橋になる人材になりたいです。職場でもそうなるように、「〇〇なら郭さんにやってほしい」と頼られるようになりたいです。

外国人採用に興味ある企業へひとこと できれば外国人の立場に立って、福利厚生など色々な制度を充実させてほしいです。例えば、母国への帰省では国内移動に比べ日数や費用がかかるので、考慮されるとよい人材が集まりやすいと思います。

学生時代からずっと茨城です



ヨネダ・イサムさん

イギリス・スコットランド出身 勤務先:「木内酒造」(勤続約4年)【那珂市】

現在のお仕事について教えてください。 ウイスキーの醸造を担当し、仕込みから樽詰めまで行います。今は試験的に小規模で製造しておりスタッフは自分だけですが、来月の新工場立ち上げからチームで大規模な生産を予定しています。職場では日本語でやり取りしますが、英語にはない立場の違いが会話表現で出てきます。目上の人や上司には丁寧な言葉遣いが必要です。このほか、イギリスと違い、上司の前では部下の発言が遠慮気味だと感じます。経歴や資格によらず新入社員は全員現場や下働きを経験しますが、与えられたポジション以外の仕事を全部経験できるので、日本のやり方の方が合っていると思います。

来日のきっかけは? 「日本に住んでみたい」と思ったことです。ALT(外国語指導助手)としてひたちなか市内の学校で2年間勤務し茨城が好きになりました。茨城のモノやコトを世界中に紹介したいと思うようになり、それができる仕

事を探しました。今の会社の社長に会い、茨城を思う自分の熱い気持ちとともに採用してほしいと直接お願いしました。丁度ウイスキー製造を始めようとしていた頃です。

茨城の印象や生活は? 茨城では友人が作りやすかったです。ひとり暮らしをしていますが、週末はバンド仲間と演奏したり、ちょっと遠出したり、友人とウイスキーに関して勉強したりして過ごしています。

将来の目標は何ですか? 世界最高品質といわれるウイスキーを世に送り出したいです。ジャパニーズ・ウイスキーではなく、イバラキ・ジャパン・ウイスキーといわれるようなものを作りたいです。原料を茨城産にこだわって使用しています。茨城を世界中にお届けします。

茨城県、また、これから茨城に住む外国人に向けてひとことお願いします。 外国人がもっと住みやすい茨城になってほしいです。あまり日本語ができない外国人には言葉の壁があるので、困ったときに通訳や翻訳で頼れる仕組みがあるとよいです。日本文化が好きで来日したのに、コミュニケーションが難しく茨城を去った人がいました。外国人の皆さんは、ある程度の日本語力が必要ですし、「日本=東京」のイメージで茨城に住むとうまくいきません。正しい理解と日本のルールに沿って生活すれば快適になると思います。茨城の皆さん、外国人を温かく迎え入れてください。

茨城を世界中に紹介したい



クエスト茨城留学生研修バスツアー



熱心に耳を傾ける留学生たち

11月、県内大学の留学生がつくば市内の企業を訪問し、外国人社員の皆さんと日本で働くことなどについて活発な意見交換をしました。デビノ・ルドヴィクさん(フランス出身、関彰商事株式会社)に、その様子をお聞きしました。



留学生の皆さんが説明とアドバイスに注意深く耳を傾けてくれて、質問もたくさんしてくれたので、とてもやる気のある方々だと感じました。日本でどのような仕事ができるか、なかなか将来が想像できず、多少心配していた方もいましたが、皆が前向きで、自分の能力を高めるために頑張りたいと話していました。グローバル化が進んでいる今の日本にとって、このような人材は未来の日本の発展に貢献できると思います。

出産後も茨城で仕事を続けたい



島根マスマワティさん

インドネシア・南スラウェシ州出身 勤務先:「障がい者支援施設 ありすの社」(勤続約9年)【水戸市】

お仕事について教えてください。 介護福祉士として、障がい者支援施設の生活支援員をしています。朝、自動車を利用者を迎えに行き、施設では入浴や食事の介助、日中活動などを行っています。利用者の中には口頭での会話が難しい方もいらっしゃって、初めの頃はコミュニケーションが取れず、職場の先輩にどうしたらよいか教わりました。

来日のきっかけは? 母国では看護師をしていました。日本とインドネシアが経済連携協定を結ぶことを知り、日本の介護施設での研修に興味を持ちました。日本でチャレンジしてみたいと思いました。インドネシアでは、一般に介護が必要とされる人は各家庭が世話をしている、身寄りがない人向けに県で1か所くらい介護施設があります。当初、日本で5、6年経験を積んで帰国しようと考えていました。

茨城の印象や生活は? おすすめの場所は、ひたち海浜公園や竜神大吊橋です。当初、茨城に来て5年間は自転車通勤で、夏の暑

さ、冬の寒さが厳しかったです。病気になっても家族はいません。インドネシアに帰りたと思うこともありましたが、介護福祉士の資格取得を目指して頑張りました。職場の理解と応援があって勉強時間も確保でき、2014年に合格できました。週末は市内の日本語ボランティア教室に通ったり、インドネシア人の友人や、市の国際交流センターで知り合ったフィリピン人と過ごすなどしました。その後日本人と結婚、出産して今は育児休暇中です。母国では出産するとベビーシッターを雇い面倒を見てもらいますが、日本の育児休暇制度は良いと思います。今2人目がおなかにいますが、出産後は復職したいです。

茨城県へひとこと 国籍を問わず外国人が交流する機会はありますが、母国出身者によるコミュニティがあるとよいです。水戸市内にはインドネシア人があまりおらず、茨城に長く住んでいるインドネシア人同士で、週に1回くらい情報交換できる機会が欲しいです。

ブイ・キム・クイエンさん

ベトナム・フート省(首都ハノイから東北へ約100km)出身 勤務先:「株式会社アルク」(勤続1年4か月)【水戸市】

現在のお仕事について教えてください。 建築現場の地盤調査(地歴などのデータ調べ)や、地盤改良工事の提案を行っています。ベトナムの大学で土木工学を専攻しました。学んだことが生かして毎日が楽しいです。仕事の仕方は、日本とベトナムで異なります。日本では仕事の期限を守ることや作業の効率が厳しく求められます。

来日のきっかけは? 日本の高い土木技術を学ぶため日本で働きたいと思いました。ハノイで日本企業の就職セミナーがあり、それに参加したことが縁で現在の会社に勤めています。

茨城の印象は? 気候はベトナム北部と同じで四季があり過ごしやすいです。でも日本の冬はとても寒いです。また、にぎやかなところが好きなので少し寂しいと感じますが、ベトナムに帰りたとは思いません。普段からベトナム人の友達と会って、一緒に過ごしたり相談もできるので、困ることはあまりないです。茨城で好きな場所は大手です。会社の先輩に連れて行ってほしい、リンゴ狩りをしました。ベト

日本の土木技術を学ぶため茨城で仕事を続けたい

ナムより大きくてみずみずしいリンゴがおいしかったです。袋田の滝もきれいでした。

茨城での生活について教えてください。 最初は今の会社の社長さんの家に住んでいました。奥様の手料理がとてもおいしく不自由なく生活していました。1年くらい前からアパートで独り暮らしをして、今は自炊しています。ベトナムは屋台が一般的なので、スーパーでの買い物は最初は慣れませんでした。日本の食品は安全で安心です。道路も渋滞が少なく、交通ルールが守られていて安全です。茨城で仕事を続けたいと思っているので、毎週日本語ボランティア教室に通って勉強しています。

将来の目標は何ですか? 仕事では職場の先輩から色々なことを教わっているので、それを生かしてがんばりたいです。いつかベトナムで高層マンションが買えるくらいになりたいです。



ジャヤンパット・チャーミンダ・ラジャパクシャさん

スリランカ・クルネーガラ出身 勤務先:「富士電機株式会社」(勤続約13年)【阿見町】

現在のお仕事について教えてください。 出荷前の配電盤(製品)の試験と検査を行っています。時折お客様のサポートも行っています。母国でソフトウェアを学んだので、今度はハードウェアを学びたくて日本に来ました。日本企業は新しい技術を次々と生み出し、すぐに私たちの身近で使えるようにすることがいいですね。日本人の印象については、テレビドラマの「おしん」から女性は素晴らしいという印象、男性についても映画「七人の侍」をみて好印象を持っていました。

茨城の印象は? 自然災害が少なく、緑がいっぱいあり住みやすい環境だと思います。役所の窓口では、見た目外国人が来たと

身構えられてしまうことが多かったのが残念でした。一般の人々は、都会よりも田舎の方が優しくして生活しやすいです。

茨城での生活について 以前4年間北陸に住んでいた時と比べて、交通の便が良いです。茨城に移住してきた当初は、外国人支援サービスが少なく苦労しました。また、観光面でももう少し頑張してほしいと思います。

将来の目標は? 仕事の傍ら、日本の子ども達に母国文化を紹介する活動をしています。NPO法人「スリランカとアジアの友の会」を立ち上げ、日本の「もったいない」精神で、ピアノなどの楽器や、車いす、松葉杖などを集めて修理・清掃し、スリランカで必要としている子ども達に届けています。こうした活動を通じて、子ども達の役に立てる人間になりたいです。興味がある方はぜひ一緒に活動しましょう。

茨城は緑が豊かで住みやすい

茨城地域留学生交流推進協議会の活動について

茨城地域留学生交流推進協議会 事務局
茨城大学国際交流課長 安田 裕

茨城地域留学生交流推進協議会は、留学生の茨城地域における交流や在籍管理、就職など社会における留学生受入推進のため、連絡会議などを開催し、協議や情報交換などを継続的に取り組むことを目的とした県内の高等教育機関(8機関)、地方公共団体(5団体)、経済団体等(4団体)、国際交流関係団体等(4団体)の関係者により構成される協議会です。協議会は、これらの目的を達成するため、留学生に係る情報の収集、調査、生活支援、留学生相互及び留学生と日本人の交流促進、住宅に関する諸問題への対応、留学生担当者の交流および資質向上のための連絡会議などを実施し



ワールドキャラバン

ております。
また、協議会は茨城県国際理解教育推進協議会の構成員であり、ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業に、協議会員である県内高等教育機関に所属する留学生を推薦しております。留学生は、積極的に小・中・高・特別支援学校や生涯学習の場に出向き、写真や動画による母国の紹介など地域での異文化体験の普及に協力しています。また、茨城県国際交流協会の事業でもある「茨城県留学生親善大使」においては、県内の高等教育機関において募集活動を行い、応募した留学生が任命を受け、平成15年度から継続して国際交流推進に貢献しております。

ております。

また、協議会は茨城県国際理解教育推進協議会の構成員であり、ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業に、協議会員である県内高等



地域との国際交流パーティ

教育機関に所属する留学生を推薦しております。留学生は、積極的に小・中・高・特別支援学校や生涯学習の場に出向き、写真や動画による母国の紹介など地域での異文化体験の普及に協力しています。また、茨城県国際交流協会の事業でもある「茨城県留学生親善大使」においては、県内の高等教育機関において募集活動を行い、応募した留学生が任命を受け、平成15年度から継続して国際交流推進に貢献しております。

本協議会においては、近年、日本国内で就職を希望する留学生が増加することが予測されるため、留学生の就職支援やインターンシップ事業促進に取り組み、さらに、これまでの事業を含め、県内での交流活動を活発に継続して参りたいと思います。

交流の

わが町の外国人リーダー



小泉 クリステイナさん
常陸大宮市在住
(在住歴17年)
フィリピン出身
自営業(パンの製作販売)

クリステイナさんをご紹介します

小泉 クリステイナさんは、2001年にフィリピンから来日されました。

現在は、パン工房でのパン作りの勉強を経て、自宅でのパンの製造と販売をされています。持ち前の明るさと気さくな人柄もあり、あっという間に人気のパン屋さん。温かく迎え入れてくれた地域のみなさんへの感謝の気持ちを込めて「安くておいしいパン」を作っているそうです。他にも、来日しているフィリピンの友人や、地元の方を大勢招待して、地元集会所でオペラ歌手とフルート奏者によるコンサートを開催するなど、地域との絆を大切にされていらっしゃいます。

また、日本の文化を学ぶため地元の「そばの会」にも入会され、今では素人そば打ちの段位を取得されるほどの腕前。市の国際交流協会にも加入され、精力的に活動されている小泉さんに今後もますます期待しています。

常陸大宮市国際交流協会

クリステイナさんにお聞きしました

○これまで常陸大宮市で生活してよかったこと、感じていることなどを教えてください。

私は、日本にきて約17年が経ちます。来たころは言葉も生活面もわかりませんでした。

日本語教室に参加し、勉強することで日本語や生活習慣も学ぶことも出来ました。また、日本の運転免許の試験も何とか合格しました。先生たちにはとても感謝しています。



収穫祭

国際交流の色々なイベントに参加する事で、一緒に協力し合い助け合うことで、多くの仲間や友達が出来ました。また、地域の人たちと触れ合うこともでき、日本の文化などを教えてくれて、とても助かります。私は積極的にコミュニケーションをとることがとても大事だと思いました。

今では地域の人の勤めで、日本の食文化でもある「そば打ち」の勉強をし、段位認定の「素人そば打ち二段」も取ることが出来ました。地域の人たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、国際交流のイベントに参加して、少しでも力になれるように頑張っていきたいです。

○地域で生活している外国人の方々へのメッセージやアドバイスをお願いします。

地域の人たちとは、恥ずかしがらないで積極的に言葉でコミュニケーションをとることが、とても大事だと思います。聞いたり、話したりすることで、自分の住む人々と仲良く生活が出来ると思います。



外国料理で異文化交流



YOUNG EYES

私を変えたアメリカ留学

茨城県立土浦第二高等学校2年 長谷川 理奈

私は一年間アメリカのセントラル・ハーディン高校に交換留学をしました。

この留学を通し、私は大きく3つの事を学びました。

1つ目は、世界の事を学ぶ前にまず自国のことをしっかり学び、発信することの大切さです。同じクラスには、世界各国から来た留学生もいたので、私は徐々に「日本人代表としてこの学校に来ている。」という緊張感と誇りを持つようになりました。クラスメイトから日本のことについて質問が度々あり、その中で私は「日本の政治システムについて説明して。」という問いにはうまく答えることができませんでした。それは自分が「日本の事」について深く理解していないと気づいた恥ずかしい体験でした。



クラスメイト

2つ目は、異文化を寛容な心で受け入れる事の大切さです。学校ではアジア圏からの留学生は少なかったのですが、クラスメ

イトは特別視することなく自分をそのまま受け入れてくれました。日本の教室とは少し違い、人種・宗教・思想といったものに寛容で、個人として尊重され、すごく居心地がよい場所でした。こういった相互理解の姿勢は、貧困や戦争のない平和な世界を築く上で欠かせないものだと私は感じました。

3つ目は、自分たちの世代が、「社会の構成者」として、より良い世界を作る努力をしていかなければならないと気付いたことです。留學生活を送っている最中、フロリダ州の高校で銃乱射事件があり、多くの生徒が犠牲となりました。私たちの学校でも本格的な銃撃避難訓練が行われ、さらには生徒による銃規制を求めるキャンペーンや大規模なデモがあり、私も参加しました。このようにアメリカでは高校生が自ら積極的に「より良い社会」のためや「世界平和」のために自分たちができることを常に話し合い、実際に行動に移していることに驚き、この姿勢が日本の高校生に必要なことなのだと強く思いました。

今回の留学を活かして、将来は世界の様々な問題の解決に関わることのできる仕事をしていきたいです。



ホストファミリーとクリスマス



卒業式

広場

ACROSS CULTURE

ここが違って、おもしろい!!

中国(内モンゴル) VS 日本

筑波大学 人文社会科学研究所 吳 蘭蘭



日本に留学して6年になりました。故郷を離れて行ったこともない国で一人暮らしを始め、この国に慣れるまで時間がかかりました。日本に留学したきっかけは当時北京に住んでいた親戚のお姉さんに大学院に進学する話をしたことです。その時日本を勧められて、日本語も学んだことのない私が両親を納得させ、ここに来ました。

考えてみると、6年間で日本と内モンゴルの違いにびっくりで「面白い! すごい! え、なんで? イメージと違う…」と思うことから当たり前と感じるようになって、国に帰った時に逆に慣れない事が多くあります。

内モンゴルは地域が広く、人口が少ないため、家も大きく、道路も広いです。逆に、日本の家は小さくて、家と家の距離

が驚くほど狭くて、道路も2台の車がやっとすれ違って走るぐらいの幅が多いです。最初、空港に迎えに来た先生の車に乗った時に向こうから来る車とぶつかるかなと心配した気持ちはいまだに忘れられません。

一番衝撃を受けたのが日本人の空気を読み、人に迷惑をかけないという気持ちでした。例えば、道路を走る車がベルを鳴らさないことや道を渡る時に止まって歩行者を先に行かせることです。また、道にゴミ箱がなく、ゴミはみんな家に持ち帰り、しかも分類してから捨てます。他人の気持ちを気遣いながら生活するところが、モンゴル人の細かいことを気にしないところと全く違います。日本の生活に慣れてしまった私は、国に帰る時に慣れないと感じる上に、思わず日本でできた習慣を出してしまいます。

こうした母国と全く違う国に暮らし、その人文風俗を感じるのが人生の宝になると思います。一度でもいいから皆さんも海外に住んでみませんか? 魅力を感じますよ。



2013年関東甲信越地区の留学生弁論大会



東京タワーにて

地球だより



大連日本商品展覧会での商談の様子



茨城県の中小企業の製品をPRする常設展示場

上海って意外と住みやすいかも

茨城県上海事務所長 野上 周

みなさん、上海にどのようなイメージをお持ちですか。「空気が汚い」、「衛生状態が悪い」、「反日的」等々、悪い印象をお持ちの方が多いのではないでしょうか。

私も、このようなイメージを抱いて、昨年4月に上海に赴任しました。

というのも、私が初めての海外旅行で上海を訪れた32年前、町中を車の排気ガスが覆い、蟻が大量発生するなど衛生状態も悪く、旅行中は頭痛と下痢に悩まされ続けました。

また、店員の態度もひどく、おつりを投げ返すので、単に愛想が悪いのか、日本人を含む外国人が嫌いなのか分からないほどでした。



世界有数の摩天楼から昇る朝日

それが今や、632メートルのビルを筆頭とする世界有数の摩天楼が観光名所となり、蟻もおつりを投げ返す光景も見なくなりました。

もっとも、殆どスマホ決済なので、おつりもいらなくなりましたが。

日本が失われた30年を過ごす中、隣国中国は年々豊かになり、中国人の購買力は格段に向上して来ました。

それに伴い、中国人が、信頼を寄せる日本製品をこぞって買い求める時代になってきました。

また、中国政府も輸入を強力に後押ししていますので、茨城県上海事務所では、このチャンスを捉え、県内の中小企業の製品をPRする常設展示場を上海市内に開設したり、中国各地の商談会に積極的に参加したりして、県内の優れた製品の輸出促進に取り組んでいます。

私の住む上海は、茨城空港から春秋航空定期便を使えば、3時間で行ける距離にあります。

また、春秋航空は格安で、国内旅行よりも安く上海に行くことが出来ます。

皆様もぜひ上海を訪れ、中国の成長を肌で感じていただきたいと思います。

県だより

駐日外交団の茨城県視察ツアーを実施しました!!

2月22日、14カ国18名の駐日外交団の皆さまが、茨城県をご訪問くださいました。

梅の香りが漂い始めた「弘道館」では、水戸の梅大使が外交団の皆さまを梅酒などでおもてなしたほか、水戸東武館による北辰一刀流の演武が披露されました。イエメン大使ご夫妻は「『武道と教育』が見事に融合した素晴らしい文化である」といった感想を述べられ、早咲きの梅をご鑑賞されていました。



弘道館でお出迎え



弘道館において、水戸東武館による武術の指南

水戸市内で行われた、歓迎昼食会では、大井川知事がホスト役として茨城の絶景についてプレゼンテーションを行ったほか、茨城が誇るブランド牛「常陸牛」の陶板焼きをはじめ、地元の食材を使用した懐石をお楽しみいただきました。

最後に、茨城カシマスタジアムを訪れ、2020年に、東京オリンピックでサッカー競技が開催されるスタジアム内部を視察しました。外交団の皆さまからは、「文化・歴史・経済・オリンピックと様々な分野に触れることができた」「また、必ず茨城を訪れたい」といった感想をいただきました。

した。

また、「なめがたファーマーズヴィレッジ」では、茨城県が産出額全国第1位である「かんしょ」（さつまいも）の美味しさの秘訣を見学していただき、焼きたてのさつまいもを試食した皆さまからは、「ホクホクして甘い」と笑顔がこぼれました。

最後に、茨城カシマスタジアムを訪れ、2020年に、東京オリンピックでサッカー競技が開催されるスタジアム内部を視察しました。

外交団の皆さまからは、「文化・歴史・経済・オリンピックと様々な分野に触れることができた」「また、必ず茨城を訪れたい」といった感想をいただきました。

今回のツアーを通して、茨城県の観光・産業などへの理解を深めていただき、幅広い経済・文化交流を推進してまいります。

(茨城県県民生活環境部国際交流課 係長 桔梗谷 かおる)



歓迎昼食会で、大井川知事がプレゼンテーション



なめがたファーマーズヴィレッジで、焼きたてさつまいもを試食



茨城カシマスタジアムのプレスルームにて、記者会見を体験

for you...

平成30年度使い残した年賀状で 国際協力しよう! 集計結果

平成30年度の書き損じハガキ等の集計結果は下記のとおりです。

これらは国際協力活動を行う団体等に寄付させていただきます。皆様のご厚意に感謝申し上げます。ありがとうございました。

・書き損じハガキ	1,163枚
・使用済切手	約1.3キログラム
・未使用切手	20,026円
・使用済テレホンカード	156枚
・外国紙幣・コイン	1,161枚
・現金類	3,801円

茨城県留学生親善大使を募集します

国際交流活動に意欲があり、県内の学校などで母国について紹介できる外国人留学生を「茨城県留学生親善大使」に任命します。(2019年6月頃に任命式開催予定)

お知り合いや興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ当協会までお問い合わせください。

TEL:029-241-1611

事業ボランティアを募集します

茨城県国際交流協会が主催する「外国人による日本語スピーチコンテスト」などの事業を通して、国際交流、国際協力活動のお手伝いをしていただくボランティアを平成31年(2019年)度も募集します。詳しくは、当協会のホームページをご参照ください。



賛助会員を募集しています!

当協会ではより多くの皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な事業を展開しています。さらに充実した活動を行えるよう、支援していただける賛助会員を募集しております。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会費は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費	団体会員	1口 10,000円/年
	個人会員	1口 3,000円/年

※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。



JICA海外協力隊2019年春募集のお知らせ

JICA 海外協力隊
2019年春募集を行っております。(2/13~4/3締切)

今回の応募を考えている方はもちろん、

・いつか応募してみたい!

・JICA海外協力隊の概要説明を知りたい!

・開発途上国について知りたい!

・JICA海外協力隊って、どんな活動があるの?

などJICA海外協力隊に関心のある方、是非、JICA茨城デスクまでお問合せください!

(JICAボランティアHP→ <http://www.jica.go.jp/volunteer/>)

問合せ JICA茨城デスク

E-mail: jicadpd-desk-ibarakiken@jica.go.jp

TEL:029-241-1611 (公財)茨城県国際交流協会内



平成30年度茨城県国際化推進奨励賞 受賞者決定

茨城県では、本県の国際交流その他の国際化を推進するために、顕著な功績のあった者に対して、茨城県国際化推進奨励賞を授与しています。このたび平成30年度の授賞者が決定し2月8日に授賞式が行われました。

受賞されたのは次の方々です。

奨励賞(団体3件)(敬称略/五十音順)

茨城地域 留学生交流推進 協議会	留学生と地域住民との交流、留学生への奨学金援助・宿舎確保・就職支援等への協力で本県在住留学生の生活充実に貢献。留学生に関する各種統計資料の提供にも寄与。
ひろうら 田舎暮らし体験 推進協議会	インバウンドにより外国人を農家民泊や農漁業体験に受け入れ、日本の伝統文化にふれあう機会を提供。外国人と地域住民との国際交流活動の推進に貢献。
守谷市 国際交流協会	約30年に渡り地域住民のための外国語講座(累計5言語)を開催。地域住民への外国語学習の機会の提供や国際交流意識の醸成に貢献。

特別賞(個人24件)

第17回 世界湖沼会議	第17回世界湖沼会議にて、外国人への会場案内、展示発表における日本人との意見交換のサポート、日本文化体験ブース等での内容説明等、会議の円滑な運営に尽力。
----------------	--



協会の アルバム

平成30年度に行った事業を
アルバムにしました。

4月 大好きいばらきふれあいまつり

「大好きいばらきふれあいまつり」が県三の丸庁舎で開催されました。県国際交流員による世界のゲームコーナーには、多くの方が来てくださいました。



世界文化セミナー

様々な国籍のゲスト講師を迎えて、海外の文化や社会問題について英語で話を聞き、意見交換を行いました。(春期: 4~7月、秋期: 10~1月)



6月 茨城県留学生親善大使任命式

県内の国際交流や国際理解推進事業で活躍していただく外国人留学生77名を「茨城県留学生親善大使」として任命しました。



7月 第1回クエスト茨城留学生研修

茨城県への理解を深めてもらうことを目的として、留学生のバスツアーを行いました。大洗町観光ボランティアにご協力をいただいで街歩きツアーを実施し、アクアワールド茨城県大洗水族館も見学しました。



ネットワーク会議

県内の市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流協力団体の皆さんの相互連携、情報交換と研修を目的としたネットワーク会議を開催いたしました。107名の方々にご参加いただきました。



8月 国際理解教育研修会

国際理解教育の意義や手法について理解を深めることを目的に、国際理解教育研修会を開催しました。県内の教職員、市町村国際交流協会、民間国際交流団体、当協会登録ファシリテーターなど、45名の方にご参加いただきました。



茨城県・鹿嶋市総合防災訓練

鹿嶋市において防災訓練が実施されました。今回は留学生やALT等の外国人と、当協会登録の災害時語学サポーター、鹿嶋市国際交流協会等から約50名(外国人27名)が参加し、住民避難訓練(避難所でのDPAT対応訓練を含む)、AED訓練、起震車体験等を行いました。



通訳ガイドボランティア育成講座(座学講座)

今年度は新たに英語のレベルにより上級コース(英検1級程度)と中級コース(英検2級程度)の2コースを設けて開催しました。8・9月に実施した座学講座では、「通訳ガイドとしての心構え」、「茨城観光ガイドの基礎知識」などを学びました。



9月 ワールドキャラバン

国際理解教育のため、県内の小・中・高・特別支援学校、生涯学習団体等に、外国人講師等を76団体、89件派遣しました。(9月~2月)



高校生のための地球市民講座

県内の高校生を対象にJICA 筑波にて講座を開催し、100名が参加しました。国際協力及び開発途上国に対する理解を深めました。



茨城ふるさとファミリー事業

県内の留学生15名、英語助手6名、県国際交流員1名が1泊2日のホームステイを通じて日本の生活を体験し、茨城の家族を作りました



日本語教育アドバイザー派遣事業

県内の日本語ボランティア教室が、新人講師の育成や現役講師のレベルアップを目的に実施する日本語指導者養成講座(集中講座)に、指導者として茨城県日本語教育アドバイザーを派遣しました。(9月~2月)

10月 通訳ガイドボランティア育成講座(現地研修)

中級コースでは現地研修を実施しました。常陸太田、北茨城、ひたちなかの方面ごとに、地域の寺や観光地等で実際に外国人に対し通訳訓練を行いました。



11月 第2回クエスト茨城留学生研修

留学生39名とともに、県内企業訪問及び外国籍社員との交流会と、筑波山での紅葉狩りを行いました。



市町村国際交流協会・市町村等ネットワーク会議

当協会と市町村国際交流協会等の関係者や市町村職員等が一堂に会し、相互連携のための意見交換や情報共有を進めるためにネットワーク会議を開催し、39名が参加しました。

市町村等外国人対応・相談担当者研修会

茨城県国際交流課との共催で実施され、県内市町村、市町村協会、外国人のための地域生活アドバイザー、51名が参加しました。相談対応の質の向上と連携強化を目的に、外国人の在留管理についての講義及び当協会外国人相談センターの相談事例の紹介があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



12月 外国人のための一日無料弁護士相談

筑西市にて一日無料弁護士相談を実施し、在留資格、労働関係、国際結婚、保険、留学、その他生活全般について27件の相談に対応しました。

日本発/世界発:青年のメッセージ

外国人留学生4名とコーディネーターによるパネルトーク、また、9名の高校生がグローバル社会に対する意見発表を行いました。



2月 外国人による日本語スピーチコンテスト

国際理解を深めるテーマで12カ国、15名の外国人の皆さんによる日本語スピーチコンテストを開催しました。

3月 青年中国上海スタディツアー(3/4~8)